

団体の名称

木古内町教育委員会

連携している団体

木古内小学校・木古内中学校・公民館・PTA・木古内町子ども会育成連合会・木古内町社会教育委員・木古内町女性会・栄養教諭

活動の背景・ねらい

《背景、状況》

- ・人口減少により子供が関わることのできるコミュニティの範囲が、学校のみと狭まりつつある。
- ・学校や保護者の積極的な取組により、電子メディアの接触時間を見直す機運が高まっている。

《対象者》

- ・小学生
- ・中学生
- ・その保護者

《ねらい、目的》

- ・地域の大人と子供の交流促進
- ・子供たちの基本的な生活習慣や家庭学習及び読書習慣の見直しと定着
- ・家庭教育の充実のための学習機会提供

活動内容

- ・部活動や少年団活動、通塾など日常の生活リズムを確保しながら、1日の生活の中で決められた時間に家庭学習や読書習慣を身に付けることができるようにしている。
- ・町内の栄養教諭と連携した食事指導や献立づくりを行い、地域の女性会や参加者の保護者が食事づくりに取り組む。
- ・参加者には食育講話を実施するなど、バランス良い食事をとることの大切さについて学ぶことができる機会を設けている。
- ・近隣住民の自宅で入浴させてもらう「もらい風呂」を通して、地域の方々との交流を深め、マナーを学ぶことができる機会を提供している。
- ・北海道教育委員会が作成した「生活リズムチェックシート」を活用し、規則正しい生活習慣が確立できるよう参加者に意識付けをしている。



活動の成果

- ・参加者に毎日、学習と生活に関する目標を立てさせ、振り返りを行わせることで、家庭学習や読書習慣、規則正しい生活習慣を身に付けるきっかけとすることができた。
- ・各ボランティアと共同で運営することで、地域の大人と子供の交流促進が図られた。

今後の展望

活動の結果、子供たちの規則正しい生活習慣づくりや保護者に対して家庭教育を充実させるための学習機会の提供ができた。今後はさらに多くの地域住民の協力を得ながら、地域全体で子供たちを育む機運を醸成することができるように目標・ビジョンの共有やPDCAサイクルを意識した活動を展開していく。